

レトロ&モダンな喫茶店をトリマーでもある長女に承継（親族承継）

～京都府よろず支援拠点ならびに京都商工会議所（洛南ビジネスサポートデスク）による連携支援～

Cafe & Lunch 絵慕（所在地：京都市伏見区深草直違橋4-374-4）

経営者：高山久子さん（75歳）

後継者：西口貴帆さん（40歳）…長女／家族従業員

相談者（事業所）の概要

▶昭和63年に経営者(久子さん)の実母が現店舗を取得して喫茶店を開業、同時に久子さん(現経営者)も家業に従事。その後、平成14年(22年前)に創業者の実母が死去して久さんが事業を承継、同時期に後継者の貴帆さんが手伝いとして家業に従事するようになった。

▶地元の野菜を使った食材、栄養価を考えた手作りメニューが特徴で、店舗1階は本物の煉瓦作りで重厚なレトロ感があり、2階はモダン風の作りとなっている。

▶後継者の貴帆さんは、トリマーとしてJKCライセンスB級の技術を持ち、愛玩動物飼養管理士でもあることから、現在、カフェはペット入店可としているが、来店客の多様な好みに配慮して、部分改装を施し2階だけをドッグカフェとしている。



現経営者(中央)と後継者の貴帆さん(右)、左は京都商工会議所洛南BSDの田原経営支援員(煉瓦がレトロ感を漂わせている1階の店舗にて)

経営上の課題

- ▶既存のカフェ事業を承継しつつドッグカフェとともにトリミング業も活性化させたいがトリマーの雇用が難しい
- ▶売上の向上と店舗老朽化に対する対策

支援のきっかけ

- ▶将来的に当店勤務の長女への承継を家族間でも話している状況であった。
- ▶店舗2階をドッグカフェに改装するにあたって小規模事業者持続化補助金の申請を京都商工会議所洛南ビジネスサポートデスク(BSD)に相談したところ、親族承継に取り組んでいる事情を知った担当の田原経営支援員が当センターを紹介した。

当センターの支援の経緯と活用施策

- ▶当センターでは、事業承継計画の策定を支援する過程で課題の洗い出しと対応策の検討を行うよう勧めた。
- ▶並行して、当センターからよろず支援拠点の活用を勧め、メニューの改善のほか売上管理システムの構築、SNS等を介した広報戦略など売上向上に向けたアドバイスを受けた。
- ▶事業承継計画の策定支援は洛南BSDの田原支援員が中心となって行われ、同時に京都商工会議所の専門家派遣支援を活用し看板の置き方やデザイン等の店舗外観についても指導を受けた。



Cafe&Lunch 絵慕
(最寄り駅は京阪「藤森」)



ドッグカフェに改装した2階店舗



ひとこと

当センターにご相談いただく前から、後継者（貴帆さん）主導で2階をドッグカフェに改装するという経営革新計画が進められており、非常に頼もしい後継者がおられると思いました。経営者の思いとして後継者へ承継することをお決めになっておりましたが、具体的な時期や今後の経営課題について十分に検討する機会がなかったようでした。この度の事業承継計画の策定を契機に一つ一つの課題について経営改善が進むことを祈念いたします。



京都府事業承継・引継ぎ支援センター
サブマネージャー 青野理俊